

第1回プロジェクトチーム会の開催概要の報告等について

高知県商工労働部工業振興課

第1回土佐和紙総合戦略推進会議 本会議

Agenda

■ 第1回PT会の振り返り

・各PT毎に、次の01~03の項目を振り返ります。

【PT1 (例)】

- | | | | |
|----|----------|-----------------------|------|
| 01 | 報告事項 | ✓ 用具の現状について | |
| | | ✓ 土佐和紙保存会の活動進捗について | …etc |
| 02 | ディスカッション | ✓ 楮実態調査項目、スケジュール感について | |
| | | ✓ 楮ワークショップの開催について | …etc |
| 03 | PT後の取り組み | ✓ 楮生産実態調査の実施 | |
| | | ✓ 原料商へのヒアリングの実施 | …etc |

■ 全体会での確認

・第1回PT会後の取り組み状況について、報告・協議を行います。

■ 全体会 今後に向けて_まとめ

・各PT毎で、今後の取り組みについて確認・協議を行います。

Contents

0 1 報告事項

✓ 和紙生産量調査について (県工業振興課)

→ (1) 生産量調査の調査結果を参照

✓ 集落活動センターの事例紹介 (県中山間地域対策課)

・各センターの意向と合えば、楮の耕作放棄地等の解消に繋がる可能性有り（高齢化でへぐりなどの作業が困難かもしれない）

✓ 特例子会社設立の動きについて (いの町産業経済課)

・R5年10月に新たに事業所が1箇所設立予定
→ 町内の楮の作業(へぐり)の楮生産者へ一度繋いでみる予定。

■ PTメンバーより

👤 手すき和紙協同組合

・土佐楮は価格が高いから使えないとは考えておらず。意外な結果。
(土佐楮を使う紙は、単価の高い紙だから)。結局、単価の安い紙を求める人が多くなり、海外産の楮を使っていると認識。

👤 県中山間地域対策課

・へぐりなど、特定時期に行う作業には、「特定地域づくり事業※」で季節労働者を派遣するという考えもある。(派遣料(時給1000円前後)を支払えるか等の課題有り)
※いの町で当該事業の活用を検討。(冬期の労働先が未定)

0 2 ディスカッション内容

✓ 楮実態調査項目、スケジュール感について

- ・調査項目へ楮栽培継続の条件などの新項目を追加
→いの町以外の県内各産地で調査を実施（7~8月予定）

✓ 楮ワークショップの開催について

- ・楮生産者、和紙事業者だけでなく、原料商にも話を聞いてみる
→R3までの開催内容を踏まえて具体的な取り組みへ展開する。

✓ その他（地域おこし協力隊等について）

- ・いの町でR5に地域おこし協力隊インターン制度を活用し、その一環で、和紙、楮生産などの町内の各産業に触れてもらう
- ・石州（島根県）など、楮生産が上手くいっている産地へ視察を行い、情報収集を行う。

Next

03 PT後の取り組み

- ✓ 楮生産実態調査の実施（県環境農業推進課）
- ✓ 原料商へのヒアリングの実施（県工業振興課）
→P12～「全体会での確認」で報告
- ✓ 楮ワークショップの開催内容について検討（全員）
→P12～「全体会での確認」で協議
- ✓ 産地視察（島根県浜田市）（県工業振興課）

Contents

01 報告事項

✓ 用具の現状について

(県工業振興課)

- 用具の修繕については緊急性が低い。
しかし、簀の原料である竹ひごの確保が困難な状態。
→用具職人のOさんへヒアリングを行う。

※7/7工業振興課で実施済

✓ 土佐和紙保存会の活動進捗について

(歴史文化財課)

- 「土佐典具帖紙」と「土佐清帳紙」において技術の定義、技術習得のためのカリキュラムが必要。
- 本年度はガイダンス研修を実施する予定だが、「土佐典具帖紙」のみの開催の予定。
※「土佐清帳紙」は道具の確保が困難など、本年度では実施しない。
- 別途、「土佐典具帖紙」についての講義を開催予定
→ガイダンス研修、講義の開催時期等について、次回の総会（7/4開催）で意見交換を行う

■ PTメンバーより



手すき和紙協同組合

- 竹ひご職人は全国で2名のみと少なく、また竹の安定的な確保ができていない。
結果、簀の注文の納期が2～3年となっている。用具職人の意見も聞いてみるのはいかがでしょうか。



県歴史文化財課

- 原料となる竹の必要量を見える化して、用具保存会へ情報共有しながら対策を講じていかなければならない。

0 2 ディスカッション内容

✓ 後継者育成事業について（カリキュラム等）

- ・本年度、複数人での受け入れによる短期研修を実施予定
- ・今後、長期研修を計画するには受け入れ体制やカリキュラムの検討が必要。
- ・研修生が研修修了後に独立していくための支援が必要
(ex. 共同作業場を構えるなど)
→いの町神谷（奈路）に共同作業所があるが、現在の使用状況、所有者不明。

Next

03 PT後の取り組み

- ✓ 用具職人へ現状等のヒアリング（県工業振興課）
→P12～「全体会での確認」で報告

- ✓ 土佐和紙保存会総会等（県歴史文化財課）

- ✓ 長期研修に係るカリキュラム検討（県工業振興課）

- ✓ 共同作業所の視察・聞き取り（県工業振興課）
→P12～「全体会での確認」で報告

PT3 付加価値づくり

Contents

0 1 報告事項

- ✓ 土佐和紙商品開発委託事業について
(県工業振興課)
 - ・プロポーザル審査会の結果等 (受託者: (株)クリーム)

- ✓ デジタルパンフレットの運用について
(県工業振興課)
 - ・土佐和紙生産者 5 名を掲載。
土佐打刃物、フラフ、珊瑚などの工房と一緒に職人のストーリーを伝えるPRツールとして活用中。

- ✓ イベント・展示会について
(県工業振興課)
 - ・クリアパリ、東京都ものづくり匠の技の祭典等のイベントへの出展、日曜市への出店状況 (予定など) について

令和 5 年 5 月 23 日 (火) 10 時~12 時 @紙産業技術センター 2 階研修室

出席者: 県工業振興課、県立紙産業技術センター、仁淀川地域本部、小津和紙、
県中小企業団体中央会県産業振興センター、手すき和紙協同組合、県製紙工業会、
土佐市、いの町

■ PTメンバーより

紙産業技術センター

・デジタルパンフレットのQRコードを各施設 (いの町紙の博物館、土佐和紙工芸村くらうど、つな-で、小津商店など) に設置してはどうか。

いの町

・新たな視点で情報発信できると良い。『仁淀川紙の鯉のぼり』も見込みより多くの方が来てくれた。さまざまな場所で和紙製品を購入しやすいように販路拡大できると良い。

02 ディスカッション内容

✓ 土佐和紙商品開発委託事業について

- ・商品開発委託事業の進捗具合によって、土佐和紙展（R6.2月予定）への展示なども検討する。

✓ その他

- ・産振センターより、高知新港でインバウンド向けに和紙の販売の機会を設けると、一定効果が見込めるのではないかという意見があった。

※会議後、県港湾振興課へ確認（工業振興課）

- オープンな情報公開はなく、基本は高知市が市内の事業者（で希望者）をまとめ、高知新港協会に登録という流れ。
（れんけいこうちへ相談するなど検討）

Next

03 PT後の取り組み

✓ 各種イベント出展に係る調整（県工業振興課）

→東京都匠の技の祭典（8/4～6）へ出展に向けて準備中

→パリ開催「伝統と先端と～」についても、県内の和紙生産者商品が出展採択され、準備中

✓ デジタルパンフレットのQRコードを各施設へ設置（県工業振興課）

→QRポップを作成し、いの町紙の博物館、小津和紙へ設置予定

✓ 土佐和紙商品開発委託事業の進捗管理（県工業振興課）

→P12～「全体会での確認」で報告

全体会での確認

Check List

PT 1

✓ 原料商へのヒアリングの実施（県工業振興課）__報告

【ヒアリング結果】

（持続可能な土佐楮生産に関して）

- ・既に楮の生産を辞め、収入になりやすいゆず畑など他品種へ転換されている農家も多い。
- ・現在も生産される農家は、これまでのお付き合いの延長で生産を続けてくれている印象。
ただし、高齢化を理由にその農家も年々減少している。
- ・上記の状況の中、取引価格を上げるだけでは、楮生産の持続化にむけて十分ではない。
（現実的に和紙の販売価格に転嫁できる範囲での取引価格増では、楮生産を続ける理由にならない。）

→（原料商の立場から）持続的な楮生産には、生産・加工に関わる担い手の確保が最重要課題と考える

PTでの宿題（検討案）確認

Check List

 PT 1

✓ 楮ワークショップの開催内容について検討（全員）

Next

【県工業振興課より】

・クリーンアグリ（三和製紙様）での自社楮畑に加工機（皮剥ぎ、へぐり{7分以上}）にも使える機械があるとのこと

→楮生産の効率化を考えるワークショップとして、視察と意見交換の実施は如何でしょうか？

PTでの宿題（検討案）確認

Check List

 PT 2

✓ 用具職人へ現状等のヒアリング（県工業振興課） **報告**

Next

【ヒアリング結果】

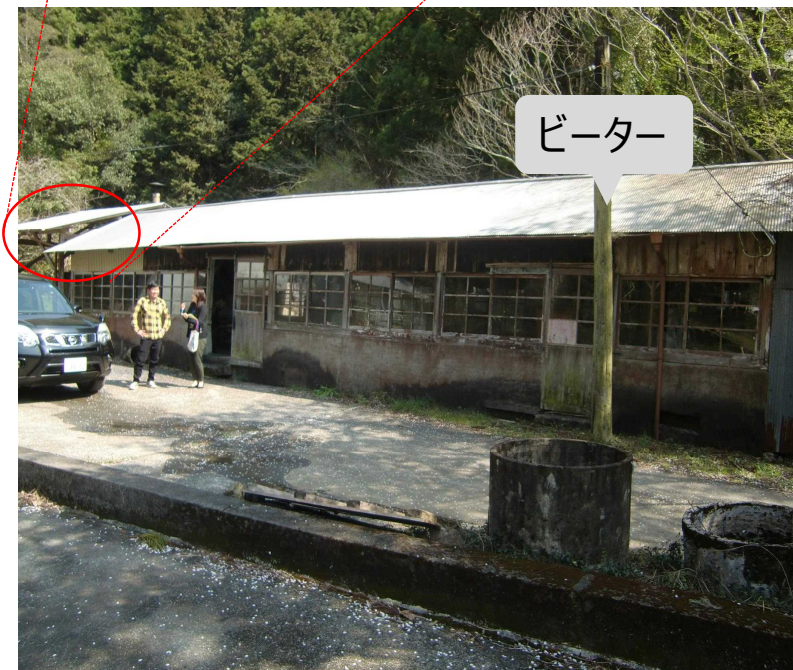
- ・（用具職人の視点からも）喫緊の課題は用具（簀）を作るための材料（竹ひご）が全国的に不足していること。
※桁（木材）、金具、絹糸など他の材料は何とか補えている。
 - ・また、竹ひごを製作できる職人は全国で2名のみ（高知県：1名、静岡県：1名）
高知県在住の竹ひご職人は安定した生産ができていない可能性。
- 竹ひご職人（高知県）へ現状等についてヒアリングを実施（県工業振興課）

PT2

✓ 共同作業所の視察・聞き取り（県工業振興課）

- ・所在地 : いの町役場から車で約10分
- ・土地所有者 : 神社地
- ・建物等所有者 : 旧土佐典具帖紙保存会
→現在は、一部の紙すき職人が使用
(土地所有者へ使用料を支払っている)
- ・施設概要 : 原料さらし場、釜場、打解機、ビーター、染め場

Contents



Contents

✓ 要修繕

- ①釜場 : 釜に穴、レンガの積み直し
- ②打解機 : 動力部分、全体
- ③ビーター : 水を送るポンプが故障、水槽（コンクリ）のクラック
- ④その他 : 雨漏り、壁に穴など、建物全般の修繕

▼打開機



▼ビーター



PTでの宿題（検討案）確認

Check List

PT 3

✓ 土佐和紙商品開発委託事業の進捗管理（県工業振興課）

【県工業振興課より】

・商品開発事業 参加の和紙生産者 5 事業者決定

「井上手漉き工房」

「田村和紙工房」

「尾崎靖製紙所」

「鹿敷製紙株式会社」

「株式会社イノウエ」

・7/27現在、クリエイター募集中

土佐和紙商品開発支援事業 概要

今回の事業では「全国25万人のCreema登録ハンドメイド作家」より「商品開発・改良のアイデア」を広く募ります
完成作品は20代後半～40代女性中心に1,300万ダウンロードCreemaユーザーに対しPR・テスト販売を実施します

(1)
和紙生産者
の募集

和紙生産者様 **5者**
の参加を公募します

【こんな方はぜひご応募ください】

- ・新たなターゲット層に向けた商品開発をしたい
- ・商品の改良などのアドバイスをほしい
- ・新商品や改良商品をテストマーケティングしたい

参加5者の確定後

それぞれの方の商材・技術・課題・和紙づくりへの思いをお伺い
クリエイターにご紹介するページを作成いたします

(2)
土佐和紙情報発信
&
クリエイター募集



全国で25万人の「Creema登録クリエイター」から
コラボレーション作品のアイデアを募集いたします

(3)
クリエイター
選考



Creema担当が参加される参加5者と面談

「応募クリエイターの作品アイデア」の中から
「**コラボするクリエイター**」を選考いたします
※選考は高知県・関係団体等も連携して進めます

土佐和紙商品開発支援事業 概要

(4)
商品開発の
進行管理



選ばれたクリエイターを高知県内に招待
参画5者を訪問

「商品開発Mtg」を実施いたします

- 初回面談・中間面談・最終面談の計3回予定
- アイデア検討過程や実際に和紙を見ながら
意見交換・プレストを実施
▶ **Creemaが全体をコーディネートいたします**

(5)
販売に向けた
アドバイス
PR・販売



Creemaから

開発した商品のPR・販売促進企画とともに
魅力をより深く訴求するための見せ方・伝え方を
実践的に参加5者にレクチャーします

**新たに生み出された「土佐和紙を用いた新商品」を
日本最大のハンドメイドクラフトECプラットフォームCreemaで
広くPR・ご紹介 テストマーケティングを実施いたします**

✓ 土佐和紙商品開発委託事業の進捗管理 (県工業振興課) 報告③

Contents



高知県とハンドメイドマーケットプレイス「Creema (クリーマ)」がコラボレーション！
高知県の伝統工芸品の魅力をさらに広めるため、県産和紙・造紙のアイデアや一様に作品を製作していただけるクリエイター
高知県の伝統工芸品の「土佐和紙」を、より魅があるものにするため、一緒に新商品開発も行っていきます！
伝統的技法・技法を活かしつつ、最新でクリエイティブに溢れる
新しいアイデアや一様に作品を製作していただけるクリエイターを募集いたします。
選考を通過したクリエイターさまは、高知県内で実際に土佐和紙事業者との協同企画・試作での作品製作を行って
完成した作品は今春12月頃に開催されるCreemaでの企画特集やブログ記事などでご紹介させていただきます
全国のクリエイターの皆様も、多くの応募、お待ちしております。

アイデアや一様に製作していただけるクリエイターさまを募集する高知県の伝統工芸品「土佐和紙」

「美しさ」に魅了されて 土佐和紙作りの道に入った和紙職人

by 土佐和紙 井上孝哉工房



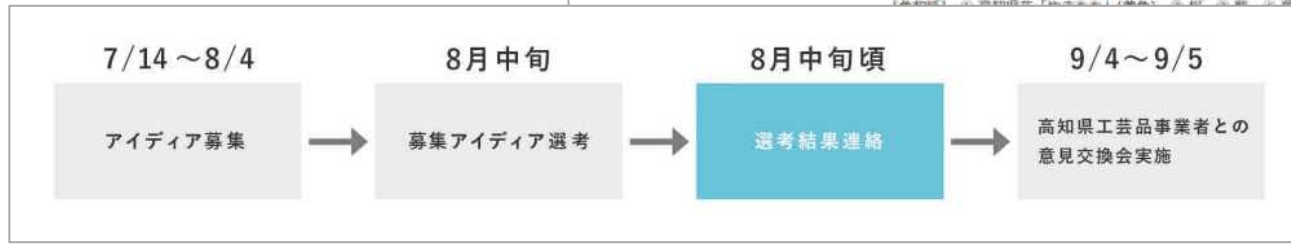
こんなクリエイターさまにご応募いただきたいです
「新しいものを生み出し発展してきた土佐和紙」を次世代につなげていくため
「記録するための紙」だけでなく「生活を彩るアイテム」を創りたいと思っ
ています。そんな「和紙のある暮らし」を彩るアイテム・作品を考えて、創っ
ていただけるクリエイターさま、ジャンル問わずご応募いただけると嬉しいです。

工芸作家の紹介

義父の通した「土佐和紙の美しさ」に心から魅了され、長年の会社員生活から
4代目を継承、和紙作りの道に入りました。「日本人の心に通じる和紙の魅
力を伝えたい」そんな思いで日々研鑽しつつ、新しいことにも取り組んでいま
す。季節を映し出す色合いの和紙、植物を置き込んだ和紙作りにも挑戦して
います。

今回の簡材・素材ご紹介・メッセージ

面白い天然素材、さまざまな植物や繊維を用いた和紙を作っています。植物や
和紙の可能性を広げていただけるクリエイターの皆様、お待ちしております。
ご用意できる和紙は以下ですが山野草などは新たに書き込むことも可能です。
【和紙】の 高知県産「和紙(美濃) 全紙」の 花



全体会 今後（第2回PT会等）に向けて_まとめ

Next

PT1

- ✓ 楮生産実態調査の実施（県環境農業推進課）
- ✓ 楮ワークショップの開催内容について検討（全員）
→日程を詰めるなど、実施にむけて調整??

PT2

- ✓ 長期研修に係るカリキュラム検討（県工業振興課）
- ✓ 共同作業所の活用の検討（県工業振興課）
→長期カリキュラムの検討、共同作業所活用にむけて検討を具体化??

PT3

- ✓ 土佐和紙商品開発委託事業の進捗管理（県工業振興課）
→来年度以降の事業についても検討していく必要??